

# 2023年度 仙台HEALTH-TECH推進事業 課題解決プログラム テーマ一覧

テーマ

担当課

01

若者・働く世代  
の健康促進

1-1. 自身の行動データに  
基づく健康づくり促進

学生や働く世代が、日常生活の中で食事・睡眠・運動等の行動を記録して自身の生活習慣や生活パターンを把握し、適切な健康づくりにつなげることができるソリューションを募集します。

健康政策課

02

子どもと親の  
健康習慣改善

2-1. のぞましい生活習慣  
定着のための学びと実践

子どもたちが健康づくりに関する知識を身につけ、メディアとの正しい付き合い方やのぞましい生活習慣を継続して実践することに役立つソリューションを募集します。

健康政策課

2-2. 母親と子どもの健康状態  
把握と改善

妊娠前～妊娠期、子の新生児期～乳幼児期までの母親・子どもの健康問題（肥満・貧血など）に対し、健康状態を適切に把握し、改善行動につなげられるソリューションを募集します。

03

高齢者の  
ウェルビーイング  
促進

3-1. 高齢者のデジタルを  
活用した社会参加

デジタル機器やeスポーツなどを活用した、高齢者（65歳以上）の方の社会参加の促進に役立つソリューションを募集します。

3-2. 配食事業による高齢者の  
栄養状態改善

低栄養状態の改善・予防を目的とした配食事業を利用している高齢者の健康状態や低栄養のリスク等を把握し、それぞれの生活や健康状態に応じた、より効果的な改善・予防策につなげるためのソリューションを募集します。

高齢企画課

3-3. 高齢者の終活サポート

高齢者が、終活に関する情報を適切に取得し、自身の生活に役立てることにつながるソリューションを募集します。

## 【01 若者・働く世代の健康促進】

### 『1-1.自身の行動データに基づく健康づくり促進』

担当課：健康福祉局 健康政策課

## 【01 若者・働く世代の健康促進】

# 1-1. 自身の行動データに基づく健康づくり促進

学生や働く世代が、日常生活の中で食事・睡眠・運動等の行動を記録して自身の生活習慣や生活パターンを把握し、適切な健康づくりにつなげることができるソリューションを募集します。

### <背景>

- 学生や働く世代といった自立度の高い市民が、健康に良い行動をするためには、自身の生活習慣や生活パターンを手軽に把握することが重要である。
- 最近ではスマートフォン等で様々な健康に関する行動データ（運動時間、睡眠時間等）を簡単に自動で取得できるようになっているが、その情報から日常的に自身の生活習慣や生活パターンを把握し、健康に良い行動を実践することを習慣化している人は多くない。
- 特に食習慣に関しては、多くの既存ソリューションでは、食事内容の記録に手間がかかり、食事量や栄養の偏り等、手軽に自身の食習慣を評価（把握）することが難しく、健康に良い行動につなげたり、継続しにくい状況である。
- また、健康に関する誤った情報が市民に広まっており、自身の生活習慣や生活パターンを把握できても、適切な行動を実践できていないケースも散見される。

### <課題/実現したいこと>

- 学生や働く世代が、日常生活の中で計測・記録可能な行動データから自身の生活習慣や生活パターンを把握し、それに応じた適切な健康づくりを継続して実践できるようにしたい。
- 特に食習慣に関して、利用者の手間のかからない方法でデータを収集し、適切な行動を推奨できるとよい。
- 但し、導入・運用費用を極力抑えた仕組みを前提とする。
- 本テーマは、仕組み・事業アイデアの検証を含めた提案で可。

## 【01 若者・働く世代の健康促進】

# 1-1. 自身の行動データに基づく健康づくり促進

### <補足情報>

- 仙台市の市民の健康に関する計画

[第2期いきいき市民健康プラン後期計画](#)

※特に【重点分野1】未来の健康をつくる生活習慣病予防、【重点分野3】健康な心と身体を支える食生活

**【02 子どもと親の健康習慣改善】**  
**『2-1.のぞましい生活習慣定着のための学びと実践』**

担当課：健康福祉局 健康政策課

## 【02 子どもと親の健康習慣改善】

# 2-1. のぞましい生活習慣定着のための学びと実践

子どもたちが健康づくりに関する知識を身につけ、メディアとの正しい付き合い方やのぞましい生活習慣を継続して実践することに役立つソリューションを募集します。

### <背景>

- 仙台市では、健康的な生活習慣によって疾病の発症そのものを予防していくことに焦点を当て、『いきいき市民健康プラン』を策定し、子ども（幼児期～17歳頃）を対象に学校等との連携を図り、生活習慣病を予防するための取り組み等を実施している。
- 新型コロナウイルス感染症の流行により、子どもたちの生活習慣が大きく変化している。子どもたちの肥満の割合が増えており、就学後の児童・生徒については、運動頻度や時間が減少していることが要因の一つとして把握されている。
- 特に、新型コロナウイルス感染症の流行下で子どもたちのメディアの平均利用時間は増えており、教育現場におけるICTの活用もあって子どもたちにとって様々なメディアはますます身近なものとなっている。そういったメディアの利用は、上記の生活習慣の変化に直接的・間接的に影響していると懸念されている。
- 学齡期中盤（14歳頃）までに生活習慣病を予防するための正しい知識（特にメディアとの正しい付き合い方）を身に付け、健康づくりを習慣化することが重要である。

### <課題/実現したいこと>

- 子どもたちが学齡期中盤（14歳頃）までに、学校の内外問わず様々な活動を通じて、健康づくり（特にメディアとの正しい付き合い方・生活習慣病の予防）に関する正しい知識を身に付け、のぞましい生活習慣を継続して実践できるようにしたい。
- 子どもたちだけでなく、家族を含む周囲の人々も一緒にのぞましい生活習慣を身につけられるような仕組みがのぞましい。
- 但し、導入・運用費用を極力抑えた仕組みを前提とする。
- 本テーマは、仕組み・事業アイデアの検証を含めた提案で可。

## 【02 子どもと親の健康習慣改善】

# 2-1.のぞましい生活習慣定着のための学びと実践

### <補足情報>

#### ■ 仙台市の市民の健康に関する計画

##### [第2期いきいき市民健康プラン後期計画](#)

※特に【重点分野1】 未来の健康をつくる生活習慣病予防、【重点分野3】 健康な心と身体を支える食生活

#### ■ 想定活用シーン

- 家庭内利用
- 児童館・児童センターでのクラブ活動
- (将来的な) 学校現場での活用  
など

**【02 子どもと親の健康習慣改善】**  
**『2-2.母親と子どもの健康状態把握と改善』**

担当課：健康福祉局 健康政策課

## 【02 子どもと親の健康習慣改善】 2-2. 母親と子どもの健康状態把握と改善

妊娠前～妊娠期、子の新生児期～乳幼児期までの母親・子どもの健康問題（肥満・やせや貧血など）に対し、健康状態を適切に把握し、改善行動につなげられるソリューションを募集します。

### <背景>

- 仙台市では、乳幼児と親に向けたのぞましい食生活・健康習慣定着のための啓発を行っている。
- 若い女性の健康状態は、次世代の健康につながることから、特に妊娠前～妊娠期、また、子の新生児～乳幼児期の母親・子の健康管理は重要であるが、その正しい情報源や支援につながる機会が少ない。
- 女性の健康課題として、妊娠前～妊娠期の肥満ややせ、貧血が、出産した子の発育に影響するとして注目されている。妊娠前の肥満・やせは、妊娠期のトラブルや分娩異常のリスクが高まる可能性がある。また、妊娠期の貧血は、早産・出産後の発育や、母親の産後うつに影響すると言われている。乳児期の貧血も、精神運動発達や中長期的な中枢神経系の発達・発育に影響することがわかっているが、測定の手機が少なく、状況把握は難しい。

### <課題/実現したいこと>

- 妊娠前～妊娠期、乳幼児期にかけて、親と子が健康状態を正しく把握できるようにしたい。また、その時期の健康に関する正しい知識を身に付け、のぞましい生活習慣を継続して実践できるようにしたい。
- 妊娠前～乳幼児期までの母親・子どもの健康問題の一体的な解決策であることがのぞましいが、対象（親または子）並びに課題（肥満・やせまたは貧血）を一部限定した提案でも可。
- 但し、導入・運用費用を極力抑えた仕組みを前提とする。
- 本テーマは、仕組み・事業アイデアの検証を含めた提案で可。

## 【02 子どもと親の健康習慣改善】 2-2. 母親と子どもの健康状態把握と改善

### <補足情報>

- 仙台市の市民の健康に関する計画

[第2期いきいき市民健康プラン後期計画](#)

※特に【重点分野1】 未来の健康をつくる生活習慣病予防、【重点分野3】 健康な心と身体を支える食生活

## 【03 高齢者のウェルビーイング促進】 『3-1.高齢者のデジタルを活用した社会参加』

担当課：健康福祉局 高齢企画課

## 【03 高齢者のウェルビーイング促進】

### 3-1. 高齢者のデジタルを活用した社会参加

デジタル機器やeスポーツなどを活用した、高齢者（65歳以上）の社会参加を促進するために役立つソリューションを募集します。

#### <背景>

- 高齢化が進む中、高齢者の健康づくりや孤立防止のために、社会参加の重要性が高まっている。
- しかし、社会参加に関心がない方や様々な社会参加の方法を知らない方、また、自らに適した手段の存在を知らず、それを選べない方がいる。定年退職や生活環境の変化（家族構成や運動時間など）が生じるため、個々人とその時の状況に適した社会参加の機会を提供したい。
- 一方で、仙台市では昨年度よりeスポーツを活用した高齢者の健康促進・外出機会創出の事業を実施している。eスポーツに限らず、デジタル機器やアプリケーション等の活用によって、社会参加の場への関心を高めたり、様々な参加手法の提案ができるようになるのではないかと期待している。

#### <課題/実現したいこと>

- 高齢者が、具体的にどのような活動ができるのかを知ってもらい、自身の健康状態や生活環境に適した形で継続的に社会参加できるようにしたい。また、高齢になって新しいことを始めることに抵抗を感じる方もいるため、早期の取り組みを促したい。
- その際に、eスポーツなどデジタル機器やアプリケーション等を活用することで、より広い選択肢の提供や関心度の向上につなげられるようにしたい。
- 本テーマは、仕組み・事業アイデアの検証を含めた提案で可。

**【03 高齢者のウェルビーイング促進】**  
**『3-2.配食事業による高齢者の栄養状態改善』**

担当課：健康福祉局 高齢企画課

## 【03 高齢者のウェルビーイング促進】

### 3-2. 配食事業による高齢者の栄養状態改善

低栄養状態の改善・予防を目的とした配食事業を利用している高齢者の健康状態や低栄養のリスク等を把握し、それぞれの生活や健康状態に応じた、より効果的な改善・予防策につなげるためのソリューションを募集します。

#### <背景>

- 一人暮らし等で、自ら食事の準備をすることが困難な高齢者や、口腔・嚥下機能の低下等により食事を十分に摂ることができない高齢者などは、低栄養状態となるリスクが高まる。
- 仙台市では、自ら食事の準備をすることが困難な高齢者に対し、「食の自立支援サービス」として栄養バランスに配慮した食事を配食することで、高齢者の低栄養状態の改善・予防と安否確認に資する事業を実施している。
- 配食事業の提供主体は配食弁当を本来業務とした営利企業が中心であるため、利用者個別の食生活や健康状態等の低栄養につながり得る要因について、本事業の効果検証に活用できるような水準での詳細把握が難しい現状にある。

#### <課題/実現したいこと>

- 本事業をより効果的なものとするため、現行事業が利用者個別の低栄養状態の改善・予防に資するものになっているか、（可能な限り利用者に負担がかからない形で）状況を把握し、必要な改善を行いたい。
- 現行事業の仕組みを活用した提案であること（現行事業との協業アイデアなど）がのぞましいが、新たな仕組み・事業アイデアの検証を含めた提案も可能とする。

## 【03 高齢者のウェルビーイング促進】

## 3-2. 配食事業による高齢者の栄養状態改善

## ＜補足情報＞

## ■ 現行支援サービスの取り組み

・ [食の自立支援サービス](#)

- 【事業概要】 一人暮らし等で、自ら食事の準備をすることが困難な高齢者に対し、栄養バランスに配慮した食事を配食するとともに、安否確認を行うサービス（1食あたり522円の利用者負担あり）
- 【令和4年度実績】
- ・延べ配食数：269,891食
  - ・登録者数（3月末時点）：1,379人
  - ・提供団体数（3月末時点）：18団体（営利企業：17、NPO法人：1）
- 【事業詳細】
- ・提供団体は、昼食又は夕食の弁当を必ず手渡しで配食することにより、対面による安否確認を行う。
  - ・配食する弁当は、高齢者に適した質と量となるよう、厚生労働省作成の「日本人の食事摂取基準（2020年度版）」の65～74歳の表を踏まえ、利用者の嗜好、咀嚼力、消化吸収力等に配慮し、栄養士が献立を作成することとしている。
  - ・提供団体は、カロリー、たんぱく質、塩分、脂質等の表示及び作成した栄養士の名前が記載された献立表を毎月区役所に提出することとしている。

## 【03 高齢者のウェルビーイング促進】 『3-3.高齢者の終活サポート』

担当課：健康福祉局 高齢企画課

## 【03 高齢者のウェルビーイング促進】

### 3-3. 高齢者の終活サポート

高齢者が、終活に関する情報を適切に取得し、自身の生活に役立てることにつながるソリューションを募集します。

#### <背景>

- 近年、高齢者の終活へのニーズが高まっているが、具体的に何をすればいいのか判らないといった声や、実際の行動につながっていないケースも多い。
- スマートフォン等を活用した情報提供サービスも存在するが、高齢者にとっては利用が難しいことも多い。高齢者のデジタル活用を促しながら、より分かりやすく活用しやすいアプリ等の仕組みが必要であると考えている。

#### <課題/実現したいこと>

- 高齢者に対し、よりわかりやすく終活に関する情報を提供し、また、実際に行動につなげられるような支援を行いたい。
- 本テーマは、仕組み・事業アイデアの検証を含めた提案で可。